

令和7年度 一般会計補正予算（第3号）

建設部 主要事業説明資料

予算科目	款	08 土木費	補正予算額		既決予算額		補正後予算額		部	建設部		
	項	04 都市計画費	458,259千円		0千円		458,259千円			課	都市計画・建築住宅課	
	目	04 都市拠点費										
	事業	01 都市拠点整備事業										
まちづくり27の施策		09 快適な都市空間の形成					443,000				15,259	
必要性	京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点の形成に向け、都市拠点公共施設の整備に係る所要額を追加するもの。		主な財源	市債	都市拠点施設整備事業債（過疎債）							426,200
				市債	都市拠点施設整備事業債（一般事業債）							16,800
事業概要	○都市拠点公共施設基本設計者選定経費		159千円		○土地購入費（峰山町新町）							318,600千円 ※
	・プロポーザル選定委員会委員謝金（3人、2回）		84千円		※令和8年度への繰越明許費を設定							449,400千円（完了予定：令和9年3月）
	・委員費用弁償		75千円									
	○工事設計委託料		121,400千円 ※									
	・都市拠点公共施設基本設計											
○測量委託料		8,700千円										
・都市拠点公共施設整備予定地の測量業務（境界確認、市道敷の分筆等）												
○都市計画等作成支援業務委託料		9,400千円 ※										
・都市拠点公共施設整備に係る都市計画及び都市再生整備計画作成支援（都市計画決定図書の作成、事業認可図書の作成、都市再生整備計画の作成等）												

1 都市拠点公共施設整備の趣旨

総合計画及び都市計画マスタープランにおいて示す「都市拠点」において、（仮）大宮峰山インターチェンジの供用開始の機を捉え、新たなまちの顔となる施設として整備するものです。都市拠点にふさわしい子育て支援、図書館、文化・芸術活動などの施設機能を有した、人が集まりつながる交流の拠点となるインクルーシブな複合施設を目指し整備を進めます。

2 これまでの経過

第2次京丹後市総合計画及び京丹後市都市計画マスタープラン等に基づき、令和3年・4年の2か年をかけて、「京丹後市都市拠点構想」を策定しました。策定に際しては、若者ワークショップ等により若者の意見を取り入れながら検討を進めました。

令和6年3月には、都市拠点公共施設のコンセプトや基本方針、計画位置などを示した「京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画（以下「基本計画」という。）」を策定しました。

基本計画に基づき地域住民等と協議を重ねてきましたが、令和6年12月に整備場所の再検討を判断し、現行の基本計画をベースとしながら新たな整備場所や施設規模などについて検討し、令和7年3月に基本計画等を改定しました。

3 整備予定場所

峰山町新町地内（国道312号と482号沿いの商業機能が集積するエリア）

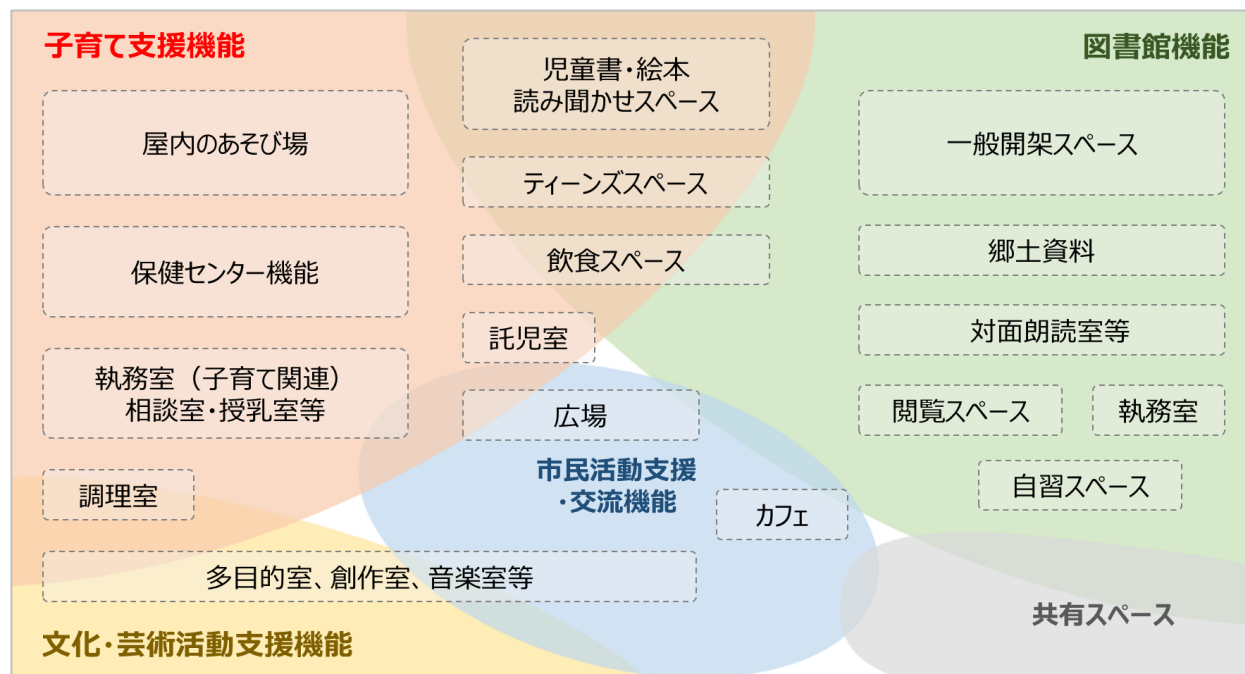
敷地面積：約5,000㎡

＜整備予定場所＞



4 導入機能

＜全体イメージ＞



5 想定規模

＜想定導入機能・規模＞

施 設	想定面積
屋内のあそび場（一時預預かり含む）	約 8 00㎡
保健センター機能	約360㎡
授乳室・おむつ替え・子ども用トイレなど	約50㎡
調理室	約60㎡
飲食スペース	約30㎡
相談室（3室想定）	約45㎡
執務室（子育て関連）	約250㎡
図書館	約2,000㎡
サービスカウンター・執務室（図書館関連）	約200㎡
多目的室・創作室・音楽室・コワーキングスペースなど （40㎡× 4 室、80㎡× 3 室想定）	約400㎡
カフェ・ラウンジ	約100㎡
その他共用部（廊下・階段・EVなど）	約1,700㎡
延床面積の想定規模感	約6,000㎡
広場	約300㎡
駐車場（来館者用65台想定）※職員駐車場等は別途検討	約1,700㎡

7 事業スケジュール

令和7年度～8年度	用地測量、都市計画作成・事業認可、用地取得、基本設計
令和8年度～9年度	詳細設計
令和9年度	土地造成
令和10年度～11年度	建設工事、その他工事

6 概算事業費

項目	R7	R8	R9	R10	R11	合計
用地測量	0.1億円					0.1億円
都市計画作成・事業認可	0.1億円					0.1億円
用地取得	3.2億円					3.2億円
基本設計	1.2億円					1.2億円
詳細設計		3.1億円				3.1億円
土地造成			1.4億円			1.4億円
建設工事				17.9億円	26.8億円	44.7億円
その他工事（外構・駐車場）					0.9億円	0.9億円
合計	4.6億円	3.1億円	1.4億円	17.9億円	27.7億円	54.7億円

＜財源＞

国庫支出金	都市構造再編集中支援事業			0.7億円	8.5億円	13.2億円	22.4億円
起債	過疎債	4.3億円				13.8億円	18.1億円
	公共事業等債 等	0.2億円	2.3億円	0.6億円	8.5億円	0.6億円	12.2億円
一般財源		0.1億円	0.8億円	0.1億円	0.9億円	0.1億円	2億円

※概算事業費は他施設事例や国交省の基準などに基づき試算したものであり、今後の設計や整備手法の選択、資材・労務費の価格変動等により、金額は変動します。

（１）想定利用人数及び関連現状実績

施設・機能 (想定面積)	想定利用人数（年間）		市施設の利用実績（R6年度）	想定利用人数について
	人数（人）	稼働予定（現状）		
屋内のあそび場 (約800㎡)	約42,000	週6日（新規）	子育て支援センター利用者数＝約13,900人	R6開催の「一日こども広場イベント」利用実績（240人）をもとに、近隣市類似施設の利用状況を参考に想定。
一時預かり (上記に含む)	約2,000	週6日（新規）	一時預かり(こども園等)利用者数＝約600人	宮津市類似施設の一時預かり実績（280人）をもとに人口比・稼働日の比率を乗じ想定
母子保健機能 (約470㎡)	約6,000	週4日（週4日）	乳幼児健診、各教室等実績＝約4,300人	利用実績に、複合施設として各種事業等の利用促進を加味し想定
各種相談等 (約45㎡)	約2,000	週5日（週5日）	来所相談(発達相談、はぐはぐ)等＝約600人	利用実績に、複合施設としての各種相談等の利用促進を加味し想定
こども部窓口 (約250㎡)	約8,000	週5日（週5日）	こども部窓口来所数(概算)＝約7,800人	利用実績から想定
図書館 (約2,200㎡)	約100,000	週7日（週6日） 開館時間10～20時 (開館時間10～18時)	図書館・室来館者数(全館)＝約80,600人 図書館・室来館者数(峰山、大宮、弥栄) ＝約36,800人	既存施設（峰山、大宮、弥栄）の来館者数実績をもとに、図書館移転・複合化による宮津市（約2倍）及び綾部市（約4.6倍）の実績増加状況から想定
多目的室等 (約400㎡)	約10,000	週7日（新規）	峰山総合福祉センター（コミュニティホール除く）利用者数＝約7,200人	類似施設の利用実績に、勤労者福祉会館の閉館等も加味し想定
カフェ、共用部等 (約1,835㎡)	—			
合 計 (約6,000㎡)	約170,000			

（２）多目的室等 想定定員

諸室サイズ	想定定員 (4㎡/人)	部屋数	想定定員 計	補足
40㎡	10人	4室 (計160㎡)	40人	創作室等の専門性の高い諸室も含む
80㎡	20人	3室 (計240㎡)	60人	可動間仕切りにより3室を繋げた運用も想定

【参考イメージ】

- ・議場の面積：約210㎡
- ・議会委員会室の面積：約60㎡

（３）こども部 配置想定人数

約35人（執務室想定規模：250㎡）

(1) 屋内のあそび場

市	延床面積 (㎡)	R6年度年間利用 人数 (人)	稼働日	開設年	利用料	愛称
宮津市	492	約21,000	週6日	平成29年 ミッブル4階	無料(市外含む)。未就学児童対 象。日曜日小4まで可。	にっこりあ
綾部市	668	約42,000	週6日	令和5年	無料(市外含む)	あやテラス (あやっこひろば)
舞鶴市	1,307	約59,000	週6日	平成27年	無料 市外利用者一人200円	あそびあむ
豊岡市	927	約48,000	週6日	令和3年 アイティ4階	有料 0歳～小6	WACCU TOYOOKA

(2) 図書館

市	延床面積 (㎡)	R6年度年間利用 人数 (人)	稼働日	開設年	蔵書数	事業費
宮津市	2,150	約87,000	週6日	平成29年 ミッブル3階	約11万冊	あそび場を合わせ移転総事業費 約11億円
綾部市	1,472	約198,000 ※併設施設等の 来館者も含む	週6日	令和5年	約9.5万冊	約18.4億円 あそび場、ホール 含む。
舞鶴市	東西の2図書館を集約する中央図書館をR8年度から建設に着手し、R9年度末供用開始予定。延床面積3,600㎡。開架30万冊、閉架20万冊。事業費約43.1億円。					

(1) 試算の前提

- 都市拠点公共施設は65年間使用することを想定
- 人件費単価等の上昇率は加味していない。
- 市職員人件費、各種システム等経費、移転経費等は含んでいない。
- 維持管理経費（光熱水費、清掃等）については、庁舎の維持管理経費に基づき試算
- 修繕費は国交省の試算基準に基づき試算
- 除却費は建設工事費の10%として試算
- 綾部市における複合施設整備事例（企業・一般からの寄附を約1.7億円充当）のようにその他財源の確保にも努める。

(2) 整備事業費（実質負担額）

		パターン①	パターン②	パターン①：R8～10の事業に過疎債を割り当てない場合 パターン②：過疎債を満額割り当てた場合
概算事業費		54.7億円	54.7億円	用地測量・取得、基本・詳細設計、建設工事 等
財源内訳	国庫支出金	22.4億円	22.4億円	（国庫支出金）都市構造再編集集中支援事業
	起債	30.3億円	32億円	過疎債、公共事業等債 等
	一般財源 (A)	2億円	0.3億円	

起債元利償還額 ①	37.2億円	40.9億円	パターン①：元金30.3億円＋利子6.9億円 パターン②：元金32億円＋利子8.9億円
うち 交付税措置額 ②	18.6億円	27.8億円	パターン①：元金14.8億円＋利子3.8億円 パターン②：元金21.7億円＋利子6.1億円
負担額 ①-② (B)	18.6億円	13.1億円	パターン①：元金15.5億円＋利子3.1億円 パターン②：元金10.3億円＋利子2.8億円

実質負担額 A+B	20.6億円	13.4億円	差額：7.2億円
-----------	--------	--------	----------

(3) ランニングコスト

京丹後市	(参考)他施設
約1.62億円～約1.73億円 <直営～指定管理> (約1.52億円～約1.65億円) ※カッコ内数値は週6日開館の場合、詳細は下記	海南市：海南nobinos 綾部市：あやテラス 宮津市：福祉・教育総合プラザ 約1.67億円(約1.89億円) 約1億円(約1.74億円) 約1.1億円(約1.49億円) ※カッコ内数値は面積、サービスなど本市と同等条件で試算した額 ・延床面積・機能等は同程度、月2回休館 ・延床面積等は約半分、週1回休館 ・延床面積等は同程度、週1回休館

※図書館運営に係るランニングコストについては、週7日開館、開館時間10時～20時想定での試算。

【週6日開館の場合】約1.52億円～約1.65億円

【開館時間10時～18時の場合】約1.48億円～約1.62億円

※ランニングコストのうち、子育て支援に係る運営経費の一部については、子ども・子育て支援交付金の充当を想定（年間1～2千万円程度）

※【本市現状関連経費】図書館・室（峰山、大宮、弥栄）の運営経費（施設自体の維持管理経費除く）：約33,000千円

こども部に係る維持管理経費（峰山総合福祉センター分）：約15,000千円

子育て支援に係る母子保健・各種相談機能等の運営経費：約17,000千円

(4) ライフサイクルコスト（上記の65年間の計）

- ・ 65年間のランニングコストは、約105.3億円～約112.5億円と試算
- ・ 修繕費は約17.6億円と試算（小規模・大規模合わせた合計額）
- ・ 除却費は約4.5億円と試算

3 都市拠点公共施設整備事業に係るこれまでの経過について

年月	定例会等	内 容
令和3年6月	令和3年6月定例会	令和3年度京丹後市一般会計補正予算（第3号） ※まちづくりランドデザイン推進事業（都市拠点等の在り方検討会議経費）
令和4年3月	令和4年3月定例会	令和4年度京丹後市一般会計予算 ※まちづくりランドデザイン推進事業（都市拠点等の在り方検討業務委託等経費）
令和5年1月	庁舎整備等特別委員会	京丹後市都市拠点構想（案）の説明（パブリックコメント前）
令和5年3月	令和5年3月定例会	令和5年度京丹後市一般会計予算 ※都市拠点等整備推進事業（公共施設基本計画策定支援業務委託等経費）
令和5年11月	庁舎整備等特別委員会	京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画（案）の検討状況説明
令和6年2月	庁舎整備等特別委員会	京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画（案）の説明（パブリックコメント前）
令和6年12月	議員全員協議会	しんざん小学校に隣接する公共施設エリアの用地確保に向けた現状説明（候補地の変更）
令和6年12月	令和6年12月定例会	令和6年度京丹後市一般会計補正予算（第7号） ※都市拠点等整備推進事業（公共施設検討会議等）
令和7年2月	議員会	公共施設整備エリアの新たな候補地選定の説明
令和7年3月	令和7年3月定例会	第3次京丹後市総合計画策定 令和7年度京丹後市一般会計予算 ※都市計画マスタープラン改定・立地適正化計画策定経費等